

例

キャンプファイヤー マニュアル（進行）

【第1部 迎え火の式】（静）

（開会の言葉）

◇みなさん、こんばんは。自然の家での研修も最後の夜（1日目の夜）を迎えました。これまでの活動を振り返り、新たな明日への活力を燃やし、ともに、私たちの友情の輪を広げるため、ただいまよりキャンプファイヤーを行います。明るかった空も、夜のおとずれとともに、今ではすっかり遠く西の空に沈んでしまいました。

最初は迎え火の式です。（BGM：遠き山に日は落ちて）

（営火入場）

◇営火入場（①親火・②子火4・③子火3・④営火長・⑤子火2・⑥子火1の順で入場する。）

（入場終了後 BGM fade-out）

※営火入場時は、親火だけがトーチに火をつける。

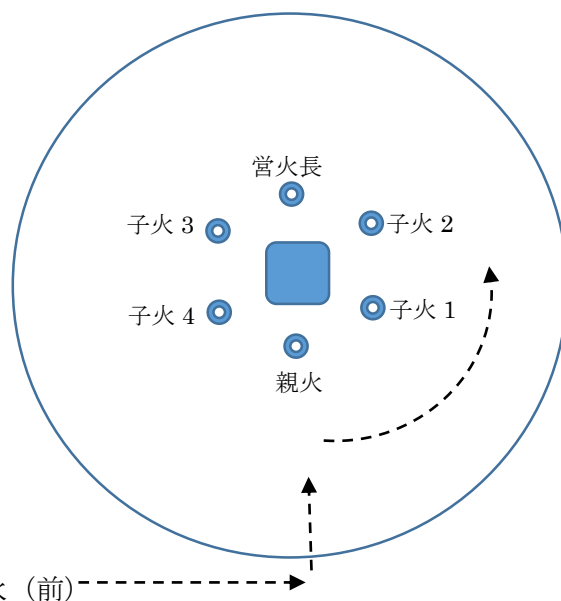
その他はトーチを持って入場

※親火を先頭に反時計回りに1周する。

※営火長・子火は自分の場所で止まる。

※親火・営火長・子火がポジションについたら次に進める。

※ファイヤーブロックから2m以上離れて立つ。
（近すぎると危険）



◇親火は、営火にささげる言葉を述べてください。

例：（親火） ※言葉は各団体で、作成してもかまわない。

私たち研修生（ ）名は、ここ大隅青少年自然の家においてキャンプファイヤーを行うことになりました。ともに鍛え、学び、また 寝食をともにする生活の中で、今まで知らなかった友だちの素晴らしい姿を発見し、新しい友だちもでき、友情を深めることができました。今夜は、自分の姿を見つめ直すとともに、心に残る集いにしたいと思います。

◇親火は、子火へ呼びかけながら火を分けてください。

※親火は、子1→子2→営火長→子3→子4の順で火を分火する。

※親火が動き、その他は親火が来るのを待つ。

- ① 親火が子火1の前に移動→親火「健康を大切にするために」→子1へ分火→子1「私たちは、常に心と体を鍛え、どんな苦しみにも負けない強いからだと心の持ち主になるように、努めたいと思います。」
- ② 親火が子火2の前に移動→親火「一日一日全力をつくすために」→子2へ分火→子2「私たちは、大きな希望と目標を持ち、一日一日の生活を反省し、いつも全力を出し、努力する人になるように努めたいと思います。」
- ③ 親火が営火長の前に移動→分火（営火長には呼びかけはせず、火をつけるだけ）
- ④ 親火が子火3の前に移動→親火「学校や地域社会の発展に役立つために」→子3へ分火→子3「いつも他の人々のことを考え、明るい学校、住みやすい地域社会をつくりだすように、努めたいと思います。」
- ⑤ 親火が子火4の前に移動→親火「すばらしい友情のために」→子4へ分火→子4「うれしいときはともに喜び、苦しいときには助け合い、励まし合い、すばらしい友情を育てたいと思います。」
- ⑥ 親火はもとの場所へもどる。

◇営火長は迎え火の言葉をお願いします。

例（営火長）

大隅の大地を照らしていた太陽は、はるか遠く水平線の波間に沈み、この大隅青少年自然の家も静かな夜を迎えようとしています。

遠い昔の人々は昼間、狩りや漁をして暮らしていました。夜になると満点に輝く星をながめながら、たき火を囲んで語り合い、また、儀式やつどいを行っていました。

その頃の人々にとって火は、自分たちを守る武器であり、闇夜を照らす明かりであり、寒さに震える体を温めてくれるものでありました。

火は人類の歴史とともに発展して、今日（こんにち）の文明を築き上げてきたとも言えましょう。

これから始まるキャンプファイヤーは、闇夜に足元を照らし、これから進むべき道しるべとなってくれるでしょう。

私たちにこれからの生き方を考えさせ、教えてくれるキャンプファイヤーが、一人一人の心の中でいつまでも燃え続け、楽しい思い出となるように祈って、迎え火の言葉とします。

（点火）

◇ただいまの営火長の言葉、先ほどの親火の営火にささげる言葉、そして子火のみなさんの誓いの言葉をもう一度思い出してください。これらの言葉を参加者みなさんの誓いの言葉としてトーチにたくし、中央のファイヤーブロックに点火したいと思います。営火長は点火の宣言をお願いします。

※ 営火長「点火」→親火・営火長・子火でファイヤーブロックに点火

※ 風向や炎の様子を見て、安全に十分気をつける。

◇皆さん、中央の炎をしばらく見つめてみましょう。（BGM スタート）

私たちには大きな夢があります。ところが、私たちの人生の行く手には、決して楽しく愉快的なことばかりではありません。苦しいことも、悲しいことも、時には深い悩みに打ち沈むこともあります。しかし、どんなに苦しくても、明日に夢が描けるなら骨をかむような苦しみの中でも生きていくことができるものと思います。

皆さんは、未来にどんな夢をもっていますか。自分の夢を胸いっぱい膨らませながら生きていきましょう。生まれてから今日まで実に多くの様々な思い出が収められていることと思います。皆さんの小さい頃はどうかだったでしょうか。無心に遊んだ懐かしいあの頃、小学校1年生の教室、担任の先生、そして、その頃の仲間たち……（BGM fade-out）

さあ、皆さん！ 炎も高く燃え上がりました。今宵ひととき、歌ったり、踊ったり、ゲームをしたり大いに楽しみましょう。（営火は退場する。退場後湿った雑巾等をかぶせて火を消す。トーチは、また第3部で使う。）

【第2部 交歓の集い】（動）

◇これから楽しいレクリエーションをはじめます。

※内容は各団体が計画したもの

※交歓の集い（レクリエーションや発表）終了後、第3部 送り火の式へ

【第3部 送り火の式】（静）

（開会の言葉）

◇これから送り火の式をはじめます。このつどいもあと数分を残すだけとなりました。

※係はトーチをもって、迎え火のときのブロックを囲んだポジションにつく。

(採火：さいか)

◇営火長は採火の宣言をお願いします。

※営火長が「採火」という。その後、親火・営火長・子火みんなで、ファイヤーブロックにトーチを近づけて、火をつける。

◇営火長は送り火の言葉を述べてください。

例 (営火長)

これまで燃え続けてきたキャンプファイヤーも、今はもう小さな炎になってしまいました。私たちは、キャンプファイヤーのこのひととき、ともに歌い、ともに笑い、友情を深めることができました。キャンプファイヤーの火は消えても、この友情の炎をいつまでも心の中に燃やし続けていきたいものです。

最後に、私たちをはげまし、なぐさめ、見守ってくれたこの自然に感謝し、今夜のキャンプファイヤーを閉じることにします。

◇先ほど点火された炎も、今では夜のしじまの中に赤いおき火を残すだけとなりました。大いに楽しんだキャンプファイヤーもいよいよ終わりに近づいてきました。本当に今日の一日は、私たちにとって楽しく実り多い思い出のページを残してくれました。

(最後に「 」を歌って、ファイヤーの幕を閉じたいと思います。♪)

採火退場 (採火は親火を先頭に退場する。：反時計回り。退場後火を消す。)

これでキャンプファイヤーを終わります。

※終了後、後片付けを行う。ファイヤーブロックは水をかけ消火を行い、指定された灰捨て場に捨てる。

○キャンプファイヤーをはじめる前の準備

- ①ファイヤーブロックを積み上げる。できあがったら、ブロック下方に灯油を少しかける。
- ②トーチの先の布に灯油をしみ込ませる。(6本)
- ③係(親火・営火長・子火4人)以外の参加者でブロックを囲んで大きな円をつくる。(そのとき、係が入場する場所は少し開けておく。)
- ④放送や係の準備ができたら、進行の合図で開始。

※事前に係のリハーサルを行うと本番がスムーズに進行できる。

★準備

- ・ファイヤーブロック用の薪
- ・トーチ(6本)
- ・灯油
- ・火をつけるための道具(ライター等)
- ・放送機器
- ・BGM用CD
- ・トーチ消火用の濡れ雑巾

※トーチは油流れ止めを必ず作る。

